

# 適切な『輪止め』で 事故防止

大な人身災害になりかねない、車両の無人暴走を防ぎましょう  
輪止めは、タイヤの幅に収まるようにまっすぐ差し込みましょう

日立建機ロジテック

2018年4月、トラックのサイドブレーキ・輪止めのかけ忘れによる物損事故が発生しております。

車から降りる際は、少しの間でも必ず適切な停車措置を行い、重大な人身災害になりかねない車両の無人暴走を防ぎましょう。

## ○ 輪止めをする理由

停車中に車両が勝手に動き出す可能性があり、それを防ぐため。

## ○ 輪止めの正しい位置

輪止めを斜めに差したり、タイヤからはみ出た状態で差すと、輪止めを外し忘れて車両を発進させた場合に、輪止めを周囲に吹き飛ばす可能性があるあるので危険です。

これらを防ぐためには、輪止めはタイヤの幅に収まるようにまっすぐ差し込みましょう。